

〈 御案内 〉

今回、お送り致しました資料の中で、登録申請には3ページの登録申請書のみが必要書類です。医師免許証あるいは助産師免許証の写しを添えて申請して下さい。

他は、このシステムを御理解頂くための参考資料です。

登録が完了致しましたら、改めて具体的な打合せ会の御案内を差し上げ、また運用に向けて必要な書類もお渡し致します。

滋賀医科大学産婦人科

野田 洋一

産科オープンシステム運用開始に当たってのご挨拶

関係各位 殿

すでにご承知の如く、滋賀医科大学産婦人科では、いよいよ産科オープンシステムの運用を開始する運びとなりました。

少子社会となった現在、安全な分娩に対する一般社会の要求は極めて高い水準に達しています。

これに対応すべく、日々先生方は真摯に努力を払われているところであります。

我々は、滋賀医科大学の各科に在籍する多数の専門医達の持つマンパワーに裏打ちされた、より大きな安全体制を提供し、これを通じて地域医療に貢献できればと考えております。

ここに至ります過程で賜りました、大学内、外の関係者に深謝しつつ、産科オープンシステム運用開始のご挨拶とさせていただきます。

平成 17 年 10 月 30 日

滋賀医科大学附属病院
院 長 森田 陸司
産婦人科 野田 洋一

滋賀医科大学医学部附属病院産科オープンシステム実施基準

平成 17 年 12 月 27 日 病院長 裁定

(趣旨)

第 1 この基準は、滋賀医科大学医学部附属病院産科オープンシステム実施要項（平成 17 年 3 月 28 日 病院長 裁定）第 8 の規定に基づき、産科オープンシステム（以下「本システム」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(患者紹介の時期)

第 2 本システムによる滋賀医科大学医学部附属病院（以下「本院」という。）への患者紹介の時期は、原則として妊娠 20 週とする。これ以外の患者紹介については、その都度、本院産婦人科と相談のうえ対処法を決定するものとする。

(妊婦検診)

第 3 紹介された患者（以下「妊婦」という。）の検診は、原則として紹介元医療機関で行うものとする。

(妊婦の管理)

第 4 妊婦の管理は、妊娠 20 週のリスク評価によるものとし、次のとおりとする。

- (1) 妊婦の妊娠リスクがローリスク(0～1点)の場合は、本院産婦人科での 2 度目の受診を省略することができる。
- (2) 妊婦の妊娠リスクがミドルリスク(2～3点)の場合は、妊娠 36 週前後に本院産婦人科において 2 度目の受診を要するものとする。
- (3) 妊婦の妊娠リスクがハイリスク(4点以上)の場合は、原則として妊娠の管理を本院産婦人科で行うものとする。但し、紹介元医療機関が妊婦の管理を希望する場合は、本院産婦人科と相談するものとする。

(分娩の立ち会い)

第 5 紹介元医療機関における本システムの登録医師・登録助産師が分娩の立ち会いを希望する場合は、妊婦の妊娠リスクの程度を問わず、予め本院産婦人科にその旨を申し出るものとする。

- 2 上記の場合において、本院産婦人科は分娩が開始した時点で登録医師・登録助産師に連絡するものとする。

(手当の支給)

第6 登録医師・登録助産師に対する手当の支給は、別表のとおりとする。

(その他)

第7 登録医師・登録助産師は、妊娠の管理中あるいは分娩中の診断や治療法について本院産婦人科と相談し、基本的に本院産婦人科の方式に従うものとする。

附 則

この基準は、平成17年12月27日から実施する。

別表

区 分	支給対象者	支 給 額
(1) 登録医師が分娩に立ち会い、何らかの実働を伴う貢献が認められた場合	当該医師	本院の分娩介助料の半額
(2) 登録助産師が分娩に立ち会い、何らかの実働を伴う貢献が認められ、産褥期の入院期間が5～6日間であった場合	当該助産師	本院の分娩介助料の半額
(3) 登録者助産師が分娩に立ち会い、何らかの実働を伴う貢献が認められ、褥婦が分娩の当日又は翌日に退院した場合	当該助産師	5万円
(4) 帝王切開術を要し、登録医師が手術に参加した場合	当該医師	本院の分娩介助料の半額
(5) 帝王切開術を要し、登録助産師が手術室において助産業務に参加した場合	当該助産師	5万円
(6) 登録医師が分娩時に参加せず、産褥期にのみ回診した場合	当該医師	1万円
(注) 分娩時又は産褥期の回診等への参加がなく、全く関与なしに経過した場合は、不支給とする。		

上記の表において本院の分娩介助料とは、滋賀医科大学医学部附属病院諸料金規程第2条第1項第2号に規定する分娩介助料で、時間内、時間外、深夜、休日のいずれかに該当する料金をいう。(多児の場合の加算料は含まない。)

別紙

産科オープンシステム登録申請書

平成 年 月 日

滋賀医科大学医学部附属病院長 殿

住 所
医 療 機 関 名
医 籍 登 録 番 号
助産師登録番号
氏 名 印

滋賀医科大学附属病院産科オープンシステムを利用いたしますので、医師免許証・助産師免許証の写しを添えて登録を申請いたします。

- 備 考 1 連絡先電話
2 連絡先 FAX
3 E-mail

登録医師・助産師に対する謝金振込先をご記入下さい。

振込先銀行

銀行名	銀行	支店
預金種目	口座番号	
口座名義人		

産科オープンシステム登録決定通知書

_____先生

この度は登録申請をして頂き、ありがとうございます。

審査の結果、平成17年 月 日 付けで登録が認められましたので、お知らせ致します。

先生の登録番号は

平17- _____ 番 です。

今後とも、産科オープンシステムの運営につきまして、ご協力賜ります様お願い申し上げます。

尚、登録証を同封しております。ご利用下さい。

平成 年 月 日
滋賀医科大学附属病院
院長 森田 陸司

第 号

産科オープンシステム
登録医の証

殿

貴殿は、平成17年 月 日、
滋賀医科大学産科オープン
システムに登録されました。
よってここに証します。

登録番号 平17- 番

平成17年 月 日

滋賀医科大学附属病院

院長 森田 陸司

第 号

産科オープンシステム
登録助産師の証

殿

貴殿は、平成17年 月 日、
滋賀医科大学産科オープン
システムに登録されました。
よってここに証します。

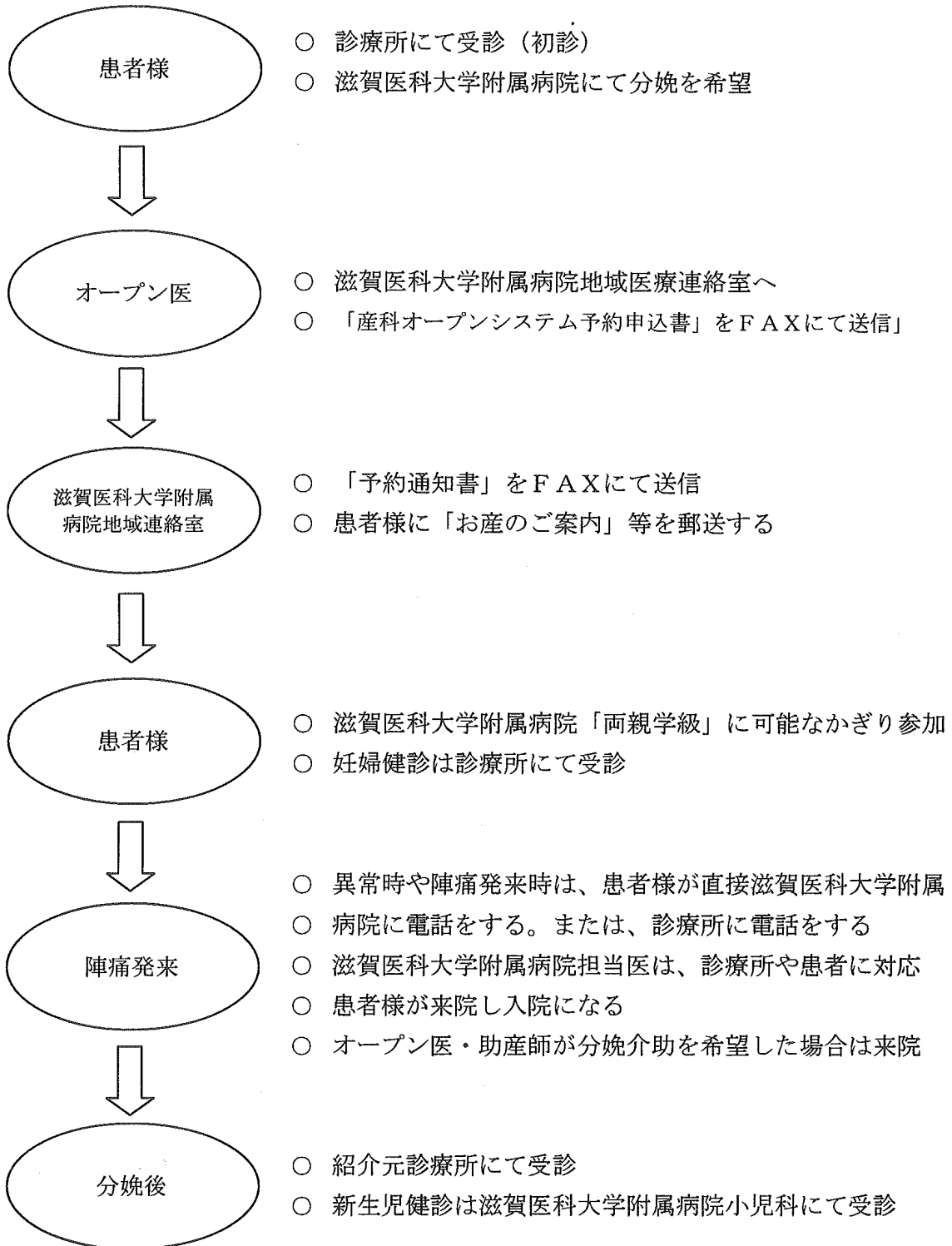
登録番号 平17- 番

平成17年 月 日

滋賀医科大学附属病院

院長 森田 陸司

産科オープンシステムの利用手順



滋賀医科大学附属病院 産科オープンシステムをご利用の先生へ

1. 滋賀医科大学附属病院のオープンシステムでの分娩をご希望の患者様がいらっしゃいましたら、「産科オープンシステム予約申込書」をFAX(077-548-2792)にて地域医療連携室へ送信して下さい。
2. 折り返し、「予約確認書」をFAXにて返送致します。
3. 記入内容をご確認のうえ、患者様にお渡し下さい。
4. 患者様に別途「お産のご案内」、診察券等を郵送します。
5. 両親学級受講希望の場合は、すでに配布しております「両親学級受講予約書」をFAXにて送信して下さい。折り返し予約確認をFAXにて返送致します。
6. 患者様には妊娠中に可能な限り、両親学級に参加して頂くようお願い申し上げます。(病院の場所、病院スタッフ等ご出産までに一度はご確認いただきます。)
7. 妊娠経過中に異常が認められた場合は、産科オープン医・助産師の判断あるいは当院産科担当医との相談に従って滋賀医科大学附属病院で入院をして頂きます。
8. (平日午前9時から午後4時は産婦人科外来(077-548-2576)、時間外及び休日は産婦人科病棟(077-548-2675)に連絡。)
必ず、「産科オープンシステム利用」とお伝え下さい。
9. 陣痛発来時には、患者様から直接6A産婦人科病棟へ連絡いただいても、産科オープン医・助産師経由で連絡いただいても結構です。
077-548-2674(6A病棟)
必ず、「産科オープンシステム利用」とお伝え下さい。
10. 患者様が直接滋賀医科大学附属病院に来院、入院された場合は、産科オープン医・助産師に連絡いたします。また来院されなかった場合には、分娩の経過についてもご報告いたします。
11. 分娩介助および診療に産科オープン医・助産師が来院された場合、6Aの看護ステーションに声を掛けて下さい。病棟では当院が用意・交付しました名札を付けて頂き、診察に従事していただきます。

※

- a. 患者様で選択的帝王切開が必要な場合は、35W～36W以前に来院していただきます。
- b. 妊婦健診、産褥健診は特に患者様が希望されない限り各診療所で行ってください。
- c. 新生児健診は基本的に当院小児科で行っています。

連絡先

産婦人科外来	TEL 077-548-2576	産婦人科 6A 病棟	TEL077-548-2675
地域医療連携室	FAX 077-548-2792		

滋賀医科大学付属病院 産科オープンシステム予約申込書

紹介元 医療機関名 所在地 TEL FAX	紹介先 滋賀医科大学 産婦人科
先生	先生

下記の妊婦につきまして、産科オープンシステムの利用を申し込みます。

☆患者様氏名・保険証番号等 当院受診歴(有・無)(ID)

フリガナ		生年月日	昭・平 年 月 日
患者氏名		電話(自宅)	
住 所	〒	電話(携帯)	
		電話(実家)	(宅)
保険番号		公費負担者番号	
記号・番号		公費負担受給者番号	
区 分	本人・家族 (<small>被保険者名</small>)	負 担 割 合	0割 ・ 1割 ・ 2割

1. 受診希望医師名 医師
2. 受診希望日 平成 年 月 日 () 午前 ・ 午後

返信用 FAX

予 約 確 認 書 (病院記入欄)

下記の如く、予約が完了しました。

担当医：

受診日： 年 月 日 () 午前 ・ 午後
 : ~ : に受診して下さい。

※ 休診日 土・日・祝・年末年始(12/29~1/3)

※ お問い合わせ先 地域医療連携室 FAX077-548-2792

両親学級受講予約申込書

分娩予定日 年 月 日

氏名 _____ 様 才 _____ 初産婦 ・ 経産婦

当院ID: _____ 夫立ち会い分娩希望 有 ・ 無

連絡先TEL 自宅 _____ 里帰り分娩 有 ・ 無

携帯 _____

実家 _____ (_____ 宅)

今回は第 _____ 回目の受講です。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日を希望します。

受付時間は、9:00~17:00 までです。

FAX 送付先: 077-548-2792 地域医療連携室

返信用FAX

予 約 確 認 書

(病院記入欄)

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 開催の両親学級の予約が完了しました。

変更を希望される場合は、病棟 (6A: TEL 077-548-2674) までご連絡ください。

地域医療連携室
受付:

産科オープンシステム来院届

オープンシステム登録者	医療機関名		
	氏名(自署)	①	
	連絡先(TEL)		
	来院日	平成 年 月 日()	
患者	氏名		
	生年月日	昭和・平成 年 月 日生	
	分娩日	平成 年 月 日()	
	退院日	平成 年 月 日()	
以下の項目は、本院産婦人科病棟の責任者が記載します。			
登録者の実働内容	分娩介助		診療
	時間内・時間外・深夜・休日		
手当支給の有無	無 ・ 有		
支給の根拠	産科オープンシステム実施基準の別表 (1), (2), (3), (4), (5), (6)に該当する。		
備考			

産婦人科科長	病棟医長	病棟師長	担当者

※ 患者様退院後は、本紙を地域医療連携室へ送付願います。

滋賀医科大学医学部附属病院地域医療連携室

産科オープン医・助産師へのお願い

この度は、産科オープン医・助産師として登録して頂き、有り難うございます。より安全な妊婦経過の観察及び分娩の取り扱いを協同して行うため、以下の点についてご協力お願い致します。

1. 妊娠経過中に是非実施してほしい諸検査について。
下記の項目を当院ではルーチンで行っております。ご参考まで（別紙1）。
2. 当科ではハイリスク妊婦を妊婦リスクスコア自己採点表のシステムに従って判定しています。参考までに添付いたします（別紙2、資料1）。
3. なお、自己採点表システムの出典は、「厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業」の中の「産科領域における安全対策に関する研究」平成16年度総括研究報告書別刷 妊娠リスク自己評価表
主任研究者 中林 正雄 によります。
4. 個々の症例については必要に応じて紹介状も添付して下さい。特に既往歴や特記事項があればご記入下さい。

システム全体を御理解頂く為に産科オープンシステムの利用手順を添付しました。参考までに。

滋賀医科大学産婦人科
妊婦管理外来
責任者 喜多 伸幸

滋賀医科大学産婦人科

妊婦検診検査スケジュール

- 初診時検査 子宮腔部・頸部細胞診
- 妊娠初期検査 (妊娠7週～12週頃)
 - 血液型・不規則抗体
 - 血算 (白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、血小板数)
 - 感染症：STS定性、HBs抗原、HCV抗体、HIV抗体、
HILV-I抗体、風疹抗体(HI)
 - 随時血糖 ($\geq 100\text{mg/dl}$ はOGTTを行う)
- 妊娠中期検査 (妊娠24～28週頃)
 - 血算・不規則抗体
 - 肝機能 (GOT、GPT)
 - 感染症：STS定性、HBs抗原
 - GCT ($140 \geq$ はOGTT)
- 妊娠後期検査 (妊娠35～36週頃)
 - 血算、膣分泌物培養、non-stress test

(別紙 2)

以下の症例は当科では以前よりハイリスク妊婦と考えております。患者様のご了解の下に、早期に当科妊娠管理外来へご紹介ください。

—産科管理外来担当表—

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
喜多	四方 ※	山本 ※	石河 ※	井上

※女医

1. 妊娠前より疾患を有するもの
 - a. 循環器系疾患・・・ 心疾患、不整脈、 心臓手術既往、
本態性高血圧など
 - b. 血液疾患・・・・・・ 重症貧血、再生不良性貧血、溶血性貧血
凝固障害、血小板減少症、白血病など
 - c. 腎・尿路系疾患・・・ 片腎、糸球体腎炎、腎不全など
 - d. 内分泌・代謝疾患・・・ 糖尿病、甲状腺機能異常、副甲状腺機能異常、
下垂体機能異常など
 - e. 自己免疫疾患・・・ SLE、リウマチ、特発性血小板減少性紫斑病、
抗リン脂質抗体症候群など
 - f. 呼吸器疾患・・・・・・ 気管支喘息など
 - g. 精神疾患・・・・・・ 統合失調症、躁鬱病など
 - h. 神経疾患・・・・・・ 脳血栓、脳梗塞、てんかんなど
 - i. 婦人科疾患・・・・・・ 多発子宮筋腫、卵巣腫瘍など
2. 高齢初産（35歳以上）
3. 多胎妊娠
4. 高度肥満
5. 前回妊娠分娩経過不明の死産、および早産
6. 産科合併症・・・ 重症妊娠悪阻、妊娠中毒症、前置胎盤、羊水過多・
過少症、子宮内胎児発育遅延など

妊娠リスク自己評価システム

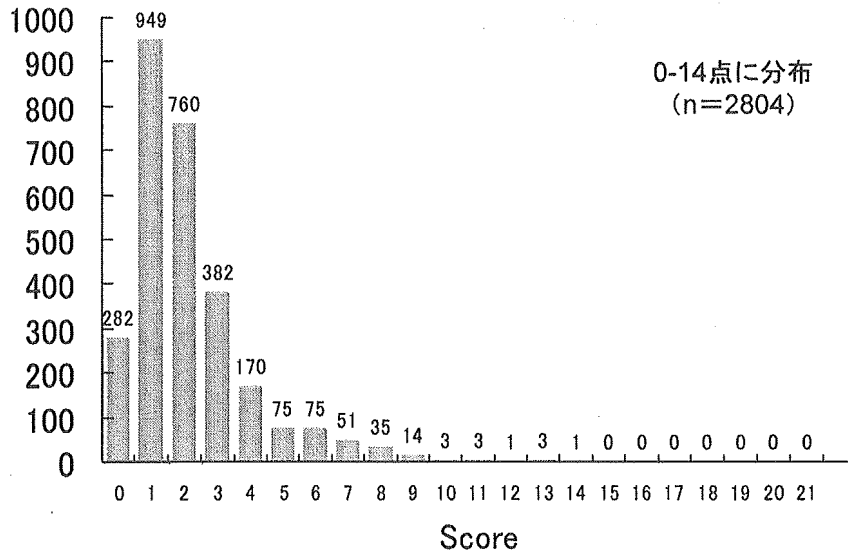
「厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業」

「産科領域における安全対策に関する研究」

平成 16 年度総括研究報告書別冊 妊娠リスク自己評価表

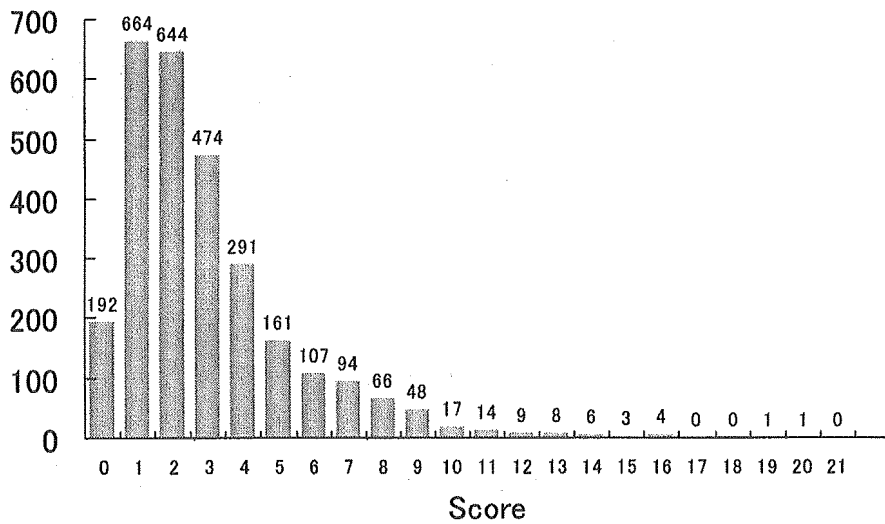
主任研究者：中林 正雄 による

妊娠初期までのスコア



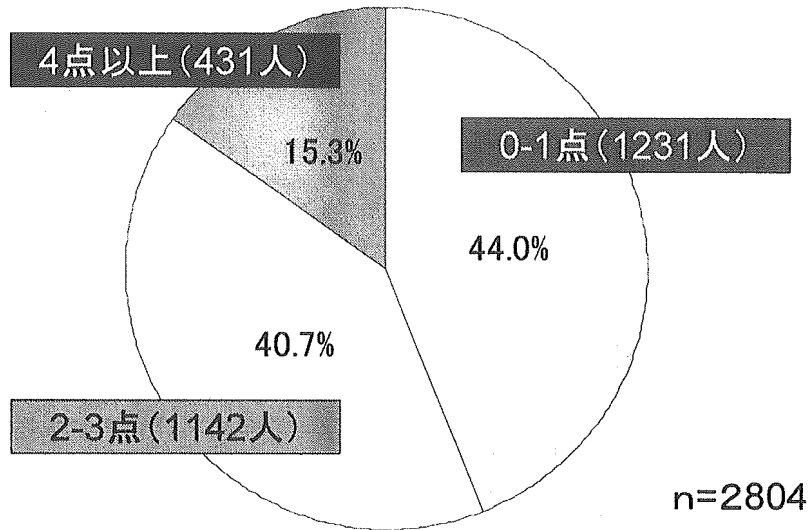
1

妊娠後半期までのスコア



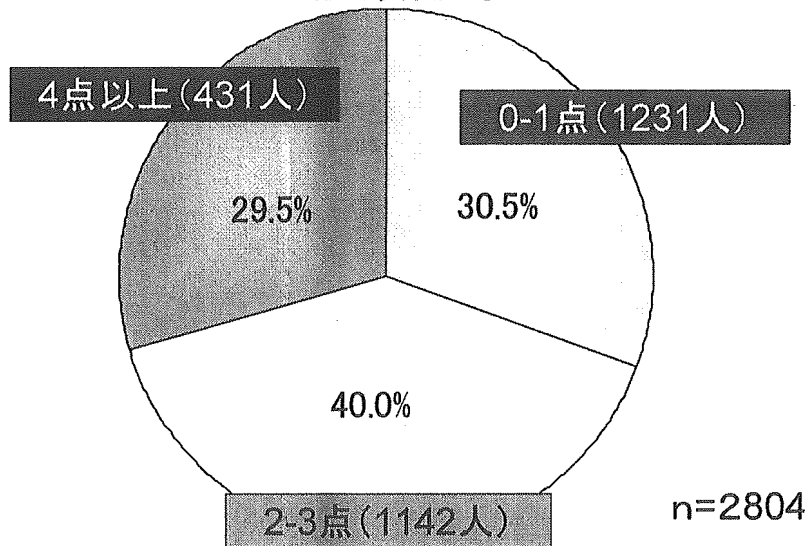
2

妊娠リスクスコア(妊娠初期)の点数分布



3

妊娠リスクスコア(妊娠後半期まで)の 点数分布



4

